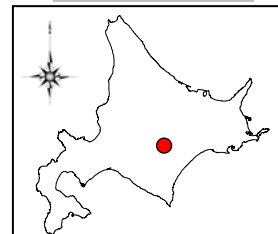


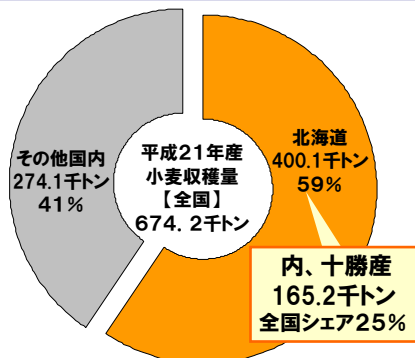
「十勝産小麦の国内安定供給」に貢献

- ・小麦など穀物価格の国際的高騰により、国内産小麦の需要が増加
- ・十勝は全国の小麦生産の1/4を占める大穀倉地帯
- ・帯広広尾道により、広大な十勝地方から効率的に十勝港へ小麦を輸送、小麦の安定供給に貢献。



背景

【日本一の小麦産地】



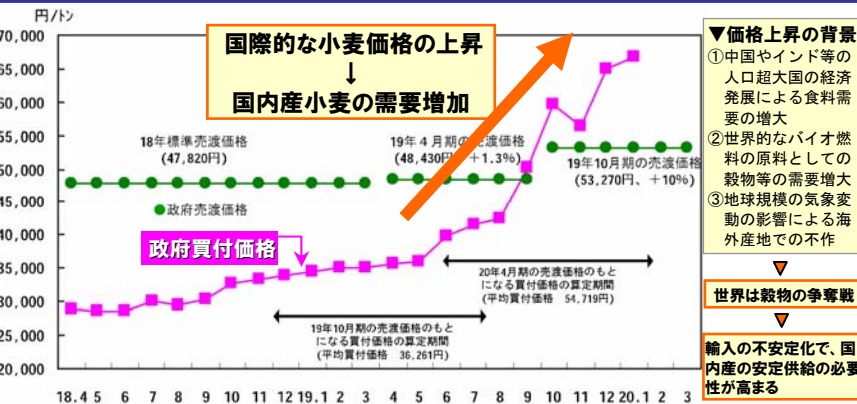
資料：農林水産省/作物統計(H21)

- 国産小麦の約6割が北海道産(内、約4割が十勝産)
- 我が国の小麦の自給率は13% (農林水産省H18)

【全道収穫量ランキング・H21】



【小麦価格が上昇～バイオエネルギー需要など】



小麦輸送の状況と効果



【JA帯広川西の意見】

- 当農協の小麦は、西帯広から全量、十勝港に行っている
- 現在、芽室帯広IC～中札内ICを利用して輸送しており、安全性、速達性が向上した。
- 広尾まで延伸された場合、当然、利用する

～H22ヒアリング結果より

【十勝小麦の加工食品】

十勝では「ホクシン」が生産量の大半を占め、主に麺類に使用される中力粉となる。

製粉化された小麦は主に麺類として商品化され、全国のスーパー等に陳列される。

本州の大手製粉会社へ